朝鮮社会科学者協会

通 報



1

2016

通　報

朝鮮社会科学者協会

第１号

目　次

☆論　文☆

☆写　真☆

敬愛する金正恩委員長による金日成・金正日主義の深化・発展（１）

リ・ジョンファ

金日成・金正日主義が人民大衆の闘争の旗、勝利の源泉としての自分の使命をまっとうするために金正恩委員長は、時代と革命発展の要求に即して金日成・金正日主義を深化・発展させている。

「敬愛する金正恩委員長による金日成・金正日主義の深化・発展（１）」では金正恩委員長の天才的で精力的な思想・理論活動によって金日成・金正日主義の構成部分であるチュチェの革命理論が深化・発展されたことについて述べる。

まず、チュチェの党建設思想と理論が深化・発展された。

金正恩委員長は次のように述べている。

「朝鮮労働党の指導思想は偉大な金日成・金正日主義です」

指導思想は党建設と活動の指針であり、革命の羅針盤であり、人民大衆の思想的・精神的糧である。指導思想を正しく示すことは革命の勝利的前進を目指す要の問題である。

金正恩委員長は朝鮮革命を勝利と栄光の一途へと導いた主席と総書記の革命思想をわが党の永遠なる指導思想として規定し、全社会の金日成・金正日主義化をわが党の最高綱領に宣布した。そして金日成・金正日主義は本質において人民大衆第一主義であると命名し、人間中心のチュチェ思想にもとづく金日成・金正日主義の革命的性格をさらに明らかにした。また、人民を天のごとく崇拜し、人民のために献身的に奉仕する人間が真の金日成・金正日主義者であると定義づけることにより、真の革命家の担うべき思想的・精神的品格の高さを規定した。

金正恩委員長は「すべてを人民のために、すべてを人民大衆に依拠し

て!」というスローガンを掲げて、党と大衆の血縁的繋がりを強め、現代版のセクト分子を根こそぎにし、唯一的指導体系を確立するための原則と方途を提示した。

先軍革命思想、先軍政治理論の内容もさらに発展、豊富化された。

金正恩委員長は、先軍は自主であり、尊厳であり、生命であるという哲理を示し、人民軍隊は党の指導に従って雪道を先頭に立って踏み分ける頼もしい尖兵、党の偉業を銃剣でもって固く保証していく磐石の支点にならなければならないと指摘した。そのためには、人民軍隊を金日成・金正日戦略戦術と勇猛果敢な攻撃方式、完璧な実戦能力を備えた真のつわものに鍛え上げ、最高司令官を中心に革命的同志愛と信義にもとづいて固く結束した真の戦友部隊、同志部隊に準備させるよう指摘した。

また、人民軍隊で政治・思想強軍化、道徳強軍化を促し、人民軍隊が朝鮮労働党の軍隊、社会主義守護戦の決死隊、社会主義強国建設の突撃隊としての使命を果たすべきであると指摘した。

そして、朝鮮労働党中央委員会のチュチェ 102（2013）年 3 月総会では、経済建設と核武力建設を併進させる戦略的路線を提示し、人民軍部隊を絶えず現地視察しながら先軍革命思想と先軍政治理論のすべての内容を全面的に深化・発展させている。

社会主義強国建設思想と理論もさらに深化・発展された。

金正恩委員長は、社会主義強国は国力が強く、限りなく隆盛・繁栄し、人民が世にうらやむことのない幸せな生活を思いっきり享受する天下第一の強国であるという定義を与え、文明強国建設思想と理論を新たに示した。

世界に誇るべき青年強国にたいする新たな思想を提示し、英雄青年神話と先軍時代の青年突撃精神、英雄青年文化を新たに示した。と同時に教育、保健医療、建築、産業美術、国土管理、スポーツなど強国建設のすべての分野で現段階に提起される理論的・実践的問題に科学的な解答を与えた。

一心団結と不敗の軍事力、新世紀の産業革命をプラスすれば、それはす

なわち社会主義強国であると、社会主義強国建設の方途も明示し、金日成・金正日主義の旗の下にわが党と人民が進むべき道は自主、先軍、社会主義の道であると百年体系の勝利の進路も明示した。

富強な祖国建設の原動力に関する思想理論も新たに提示した。

金正恩委員長は祖国と人民のためにすべてを奉げた総書記の愛国主義、金正日的愛国主義の本質と基礎を解明し、金正日的愛国主義で人民を武装させて愛国の力で社会主義強国建設の最後の勝利を早めることについて解明した。

党と国家、軍建設と経済文化建設理論から国の統一と全世界の自主化を目指す戦略戦術に関する問題にいたるまで時代と革命が提起する理論的・実践的問題に明哲な解答を与えた金正恩委員長の思想的・理論的活動によって、偉大な金日成・金正日主義の宝庫がさらに豊かになっている。

先軍の概念が定義された歴史的淵源

リ・ソンチョル

先軍であるという概念は、金正日総書記によって史上初めて哲学的意味をもって定義づけられた。

総書記が「先軍時代」「先軍政治」「先軍後労」など、革命的時代と政治方式、政治原則について語るとき、常に強調した先軍の概念はいかなる学術的研究結果によって生まれた用語でも、当面の情勢発展の要求に応えて用いた一時的な述語でもない。

総書記は先軍の概念は、金日成主席の革命活動史にたいする総括と主席が革命指導の全行程で堅持してきた銃剣重視、軍事重視思想にもとづいて生まれた歴史的な意味をもっていると指摘した。

金正恩委員長は次のように述べている。

「金日成同志は銃をもって朝鮮革命を切り開き勝利に導いてきた百戦百勝の鋼鉄の総帥であり、軍事の英才である」

当時、人々はチュチェ思想の歴史で彩られた朝鮮革命について解釈しながら、革命と建設の各分野が自主的に、創造的に開拓され、強化・発展されたことだけを強調していた。彼らは党建設、政権建設、武力建設、経済建設、文化建設がそれぞれ朝鮮式におこなわれ、革命の主体である人民大衆に依拠する方法で遂行されたという程度でしか認識していなかった。

人々は革命と建設の各分野がいかなる相互作用の中で開拓され、わが国で革命武力が党より 13 年前に創建されたという事実が何を意味するものかをよく知らずにいた。

総書記はわが国で革命武力の創建が党より先立ったという事実に深い注意を払った。総書記はここには単なる時差的なギャップではなく、朝鮮革命の勝利を保証した偉大な革命戦略があることを洞察し、思索を練った。

総書記は主席が革命闘争において一貫して銃、軍事を重視し優先させてきたことが歴史に類を見ない独創的な革命方式であり、この革命方式が朝鮮革命の全過程に明白に貫かれていることを確証した。

総書記はまさにこのような歴史的総括と結論にもとづいて主席の革命活動史は、すなわち先軍の始原を開き、銃剣重視思想、先軍思想と路線を一貫して堅持してきた先軍革命歴史であると力点をおいてその本質的性格を明らかにした。

1990 年代の中葉、総書記は軍事を優先させる原則を常に堅持してきたチュチェ革命の基本方式を先軍に命名すべき時代の要求を切に感じた。

この時期、朝鮮革命は史上、他に類例の見ない厳しい環境に直面した。われわれの社会主義を抹殺しようとする帝国主義者と反動派の策動がさらに悪辣になり、経済建設でも難関と自然災害が重なった。

主席の逝去による民族の痛恨事の直後、世界の政界、言論界では今後、朝鮮で「先行路線とある程度のギャップ」をもつ政策が実施されるだろうし、「改革開放の政策変化」があるだろうという憶測が出回った。

総書記は主席の偉業をそのまま継承しようという意志をもって、軍事を優先させる原則を常に堅持してきた朝鮮革命の基本方式を「先軍」に命名した。

総書記は 1990 年代の苦難の行軍の時期、人民軍軍人の間で高く宣揚された領袖決死擁護精神と決死貫徹の精神、英雄的犠牲精神を革命的軍人精神であると命名し、全社会が革命的軍人精神を見習うようにした。

全党と全社会に革命的軍人精神を見習う気風が確立し、人民軍隊の威力が全世界に高く誇示されるにつれて、総書記はご自身の指導が先軍指導であり、わが党の政治が先軍政治であるということについて世界に宣言した。

先軍の基本意味は、革命と建設で軍事が第一であり、軍隊が基本であるということである。

総書記は先軍であるという表現でもって、今後のわれわれの革命戦略を内外に公布した。これはわが人民には軍事優先の歴史的伝統をさらに確固と

目的・志向的に継承するようにし、帝国主義者にはその侵略的な軍事政策に断固たる軍事的対決で対処することを明白に宣言したことである。

先軍の旗を一貫して掲げて前進してきたチュチェの革命は、1990 年代の中葉に至って新たな高い段階に入った。

総書記はチュチェ革命の新たな高い段階を「先軍時代」と命名した。

先軍時代に入って自主時代の特徴とその革命的内容がさらにはっきりと浮き彫りになったし、先軍の旗が時代発展の基本標柱となった。

自強力第一主義について

キム・チャンギョン

金正恩委員長は次のように述べている。

「われわれは自強力第一主義を高く掲げて進むべきです」

自強力第一主義は、自分の力と技術、資源に依拠して主体的力量を強化し、自分の前途を切り開いていく革命精神である。

自強力第一主義の基盤は自国の革命は自分の力でおこなわなければならないという主席と総書記の革命思想であり、自強力第一主義を具現するための闘争方式は自力更生、刻苦奮闘である。

朝鮮革命の歴史は自強力によって開拓され勝利してきた歴史である。

自強力を必勝の武器として掌握して闘ったゆえに、わが人民は国家の後方や正規軍の支援もなしに困難な条件で徒手空拳でヨンギル爆弾をつくって日本帝国主義を打ち破り、祖国解放の歴史的偉業を成就した。自強力があるがゆえに、戦後の廃墟の中で100年経っても復興は不可能だと云々していたアメリカ帝国主義に鉄槌をおろし、復旧建設をたった数年間で終え、社会主義工業化の歴史的課題を14年という短期間に遂行する奇跡を創造した。去る世紀90年代、他人なら百回も倒れたはずの苦難の行軍、強行軍に打ち勝ち、社会主義強国建設の強固な土台を築けたことも、わが軍隊と人民の心の中に自強力の哲理が信念の柱としてしっかりと位置していたからである。

自己の運命の主人は自分自身であり、ひとえに自力で自己の運命を開拓すべきとの主席と総書記の自力自強の精神は、わが人民をして、不可能を知らない精神力のつわものに育て、わが祖国をだれも無視できない不敗の強国に変えた。

自強力第一主義を高く掲げて進むことは自主、先軍、社会主義の不変の軌道に沿って力強く前進するわれわれの気概と本領を誇示し、限りない未来

を繰り上げるための必須的要求である。

革命と建設は国と民族を単位にしておこなわれ、その原動力は自強力である。自力自強の精神をもってこそ、いかなる試練や難関も克服することができるし、最悪の条件の下でも最上の成果を達成することができる。革命と建設で信じるのはただ自力しかない。

誰もわれわれを助けようとせず、わが国が統一され、強大になり、豊かに暮らし、すべてが栄えることを望まない。敵はわれわれの力が強くなり、この地で社会主義の万歳の声、労働党万歳の声が高く響くことを一番恐れており、最後の勝利を目指して進むわれわれの前途を阻もうと必死になって足掻いている。

アメリカ帝国主義をはじめ、敵対勢力の悪辣な策動を粉砕し立ちはだかる隘路と難関を克服し、強国建設の雄大な目標を成果的に占領するためにはまさに自強力第一主義を高く掲げて進むべきである。

われわれは必ず事大主義と外部勢力にたいする依存を排撃し、社会主義強国建設をわれわれの力と技術、資源に依拠して自力更生、刻苦奮闘の革命精神で推進すべきであり、民族の悲願である祖国統一も主体的力量を強化してわれわれの力で成し遂げなければならない。

チュチェ思想を具現した朝鮮式経済管理方法の重要な内容

白明吉

社会主義経済管理方法を改善し完成していくことは、社会主義経済発展の合法則的要求である。社会主義建設が前進し経済が発展し、環境と条件が変われば、それに伴う社会主義経済管理方法を改善し、いっそう完成すべきである。

最近、わが国ではチュチェ思想を具現した朝鮮式社会主義経済管理方法を全面的に確立する活動がおこなわれている。

金正恩委員長は次のように述べている。

「経済強国の建設で画期的局面を切り開くためには、国家の経済組織者としての機能を強め、チュチェ思想を具現した朝鮮式経済管理方法を全面的に確立しなければなりません」

チュチェ思想を具現した朝鮮式経済管理方法は、経済活動にたいする党の指導を確固と保障しながら国家の中央集権的、統一的指導を十分に実現し、企業が実際的な経営権をもって生産と管理を主動的に、創意的におこなう社会主義の経済管理方法である。

朝鮮式経済管理方法の重要内容は何よりも、国の経済全般にたいする国家の統一的指導と戦略的管理をりっぱにおこなうことである。

国の経済全般にたいする国家の統一的指導は、生産手段にたいする社会的所有にもとづいて一つの生命有機体をなしている社会主義経済の本性的要求である。

わが国で社会主義の経済発展をめざす国家的指導管理機能を受け持って遂行する国の経済司令部は、内閣である。

内閣は中央集権制の原則に則って、国の経済全般を統一的に指揮し重要

な経済部門と対象を直接的に掌握して戦略的に管理する。

内閣は党の路線と政策にもとづいて国家の経済発展戦略と段階別計画を策定し、それを実行するための経済組織活動をおこない、企業が科学的な経営戦略、企業戦略をもって企業活動を創意的におこなうように指導する。また、国家的な経済計算体系を確立し、国の経済実態を総合的に掌握し分析した上で、経済活動全般を統一的に指揮し、計画、財政、金融、価格のような経済的空間を利用して経済発展の速度と均衡をコントロールしていく。

経済にたいする国家の統一的指導と戦略的管理を正しく実現するために、わが国では内閣責任制、内閣中心制を強めている。

内閣責任制、内閣中心制を強化することは、わが党が社会主義経済管理で一貫して堅持している原則である。

経済活動で内閣責任制、内閣中心制を強化するということは、内閣が国の経済活動にたいして責任をもつ主人として、党の経済政策と方針にしたがって経済活動全般を統一的に掌握して組織し、経済活動で提起されるすべての問題を内閣に集中させ、内閣の主管の下に解決することを意味する。内閣責任制、内閣中心制は本質において、経済にたいする国家の中央集権的、統一的指導を実現するための活動秩序であり、体系である。

朝鮮式経済管理方法の重要な内容は次に、工場、企業、協同団体が社会主義の企業責任管理制を実施することである。

すべての工場、企業、協同団体があらゆる余力と可能性をことごとく動員し、生産と管理で勤労者の創造力を積極的に引き出して、自己の部門に課された国家計画を無条件遂行するようにする上で現時、重要な問題となるのは、社会主義の企業責任管理制を実施することである。

社会主義の企業責任管理制は工場、企業、協同団体が生産手段にたいする社会主義的所有にもとづいて実際的な経営権をもち、企業活動を創意的におこなって党と国家の前に担った任務を遂行し、勤労者が生産と管理で主人としての責任と役割を果たすようにする企業管理方法である。

社会主義の企業責任管理制では工場、企業、協同団体が以前より比類なく大きな権限をもつようになり、企業が国家と人民の前に担う任務ももっと重くなる。

社会主義の企業責任管理制で工場、企業、協同団体に付与された経営権で重要なのは、拡大された計画権と生産組織権、管理機構と労力調節権、製品開発権と品質管理権、人材管理権、貿易と合弁、合作権、財政管理権、価格制定権と販売権である。

企業はまず、以前より拡大された計画権と生産組織権をもって合理的な生産組織方法を創造して社会的需要の高い製品の生産を計画的に増やすようになり、管理機構と労力調節権をもって労力資源を合理的に、効果的に利用し、技術経済的指標を自体で更新しながら勤労者の技術機能水準を高め、労働生産能率を絶えず成長させていく。

企業はまた、製品開発権と品質管理権、人材管理権を行使して、知識経済時代の要求に即して新技術、新製品を積極的に開発し製品の質を改善して企業の競争力を高めるようになる。

企業はまた、貿易と合弁、合作権をもって可能な範囲で対外経済活動も能動的におこなって必要な原料、資材、設備を自力で解決しながら設備と生産技術工程の現代化を積極的に実現し、企業単位または一定の地域単位で輸出品生産基地を整え、国際的競争力をもつ輸出品生産を増やすようになる。

企業はまた財政管理権をもって経営資金を主動的に調達し、効果的に利用して拡大再生産を実現し、経営活動を十分に実現していき、国家の定めた範囲内で生産物の価格制定権と販売権をもって生産物の流通を自力で実現して原価を補償し、生産を絶えず増やすようになる。

朝鮮式経済管理方法の重要な内容は次に、テアンの活動体系の要求通りに、経済活動にたいする党の指導を保障し、政治活動を確固と優先させることである。

党の指導を保障することは経済活動において生命である。

経済活動にたいする党の指導を確固と保障してこそ、国家経済指導機関の戦略的管理と企業の生産経営活動が人民大衆の志向と要求に即しておこなわれ、生産者大衆の精神力を十分に発揮させて生産で革新を起こすことができる。

わが国では経済活動で党委員会の集団的指導を徹底的に実現している。

経済活動で党委員会の集団的指導はテアンの活動体系を通じて実現されている。

※ テアンの活動体系は金日成主席がチュチェ 50（1961）年 12 月にテアン電気工場（当時）を現地指導しながら支配人唯一管理制の制限性を克服し、社会主義制度の本性的要求に合わせて独創的に創造した朝鮮式の社会主義的経済管理体系である。

テアンの活動体系はチュチェ思想とそれにもとづいている革命的大衆路線を具現して、勤労人民大衆を経済管理の主人と見なし彼らの意思を尊重し、彼らの利益を擁護し経済管理におけるすべての問題を生産者大衆の力と知恵に依拠して解決する経済管理体系である。

テアンの活動体系は党委員会の集団的指導の下にすべての経営活動をおこない、政治活動を優先させ、生産者大衆を発動して提起された経済課題を遂行し、上部が下部にたいして、責任をもって助ける活動体系である。テアンの活動体系はまた、経済を計画的に管理運営し、科学技術と生産を正しく結びつけ、経済的空間を正しく利用して生産を合理的に保障する活動体系である。

経済管理で党委員会の集団的指導の特徴は、経済活動にたいする政策的指導、政治的指導である。テアンの活動体系では党委員会が企業管理運営で提起されるすべての問題を集団的に討議、決定し、政治的方法で大衆を動員してそれを徹底的に貫徹するようにする。

党委員会は企業管理を対人活動に転換させ、すべての活動で政治活動を確固と優先させて提起される問題を生産者大衆の精神力と創造力を発動させる方法で解決する。

朝鮮人民はチュチェ思想を具現した朝鮮式経済管理方法を徹底的に具現して、経済活動で新たな転換を起こし、社会主義強国建設の最後の勝利を早めるであろう。

朝鮮の民俗伝統

（民族料理１）



ご飯類



九つの山菜と五穀飯



五穀飯



もやしご飯



ジャガイモご飯



海州ビビンバプ（混ぜ飯）



薬飯



平壌オンバン

麺　類



肉もりの盆そば

平壌冷麺


餅 類
ジャガイモの餅
三色朝鮮人参のソールギ
カボチャの餅
糯粟の餅
三色ソールギ
蜂蜜の餅
小豆の餅
よもぎの餅
肉アン入れの凍ったジャガイモの餅
チョン餅
もち米の餅

キムチ類





結球の白菜のキムチ



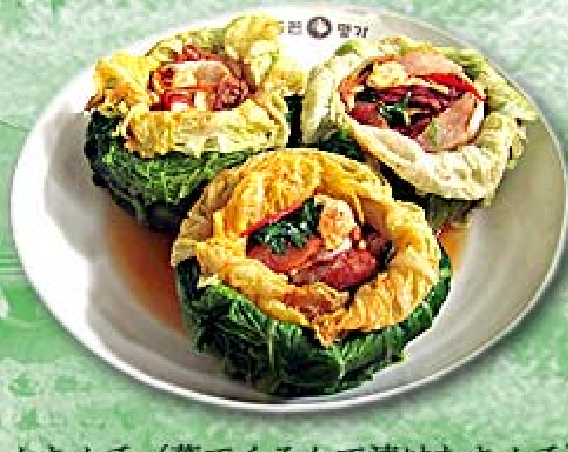
トンチミ
（塩水につけた丸漬け大根）



ナバクキムチ（さいの目に切った大根のキムチ）



タカナのキムチ



ポッサムキムチ（葉でくるんで漬けたキムチ）

代表的な副食物



朝鮮人参を入れた鶏蒸し



鯉の刺身



ウメギ（甘餅の油揚げ）



豚肉のすき焼き



緑豆ムク
（緑豆、そば、トウモロコシなどの澱粉を
煮て冷やした寒天状のもの）



神仙炉
（別々に調理したいろいろな材料を煮て
独特な味を生かす料理）



雑煮



大同江のぼら汁


菓子類
白あんずの正菓
栗の正菓
キキョウの正菓
なつめの正
蓮根の正菓
薬菓
ゴマおこし

